

呉工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	国語総合（現代文）	
科目基礎情報							
科目番号	0012			科目区分	一般 / 選択必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『新訂 国語総合 現代文編』（第一学習社）『ビジュアルカラー 国語便覧』（大修館書店）『覚えやすいテーマ別・段階別 漢字の実践練習』（第一学習社）						
担当教員	板倉 大貴						
到達目標							
1. 日本語で書かれた文章を的確に読解すること。 2. さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を涵養すること。 3. 作品が書かれた時代や作家に関する知識を身につけること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本語で書かれた文章を的確に読解できる			日本語で書かれた文章を読解できる		日本語で書かれた文章を読解できない	
評価項目2	さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を養うことができる			さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を養うことができる		さまざまな文章を読解することで思索する力、豊かな感性を養うことができない	
評価項目3	作品が書かれた時代や作家に関する知識を身につけることができる			作品が書かれた時代や作家に関する知識を身につけることができる		作品が書かれた時代や作家に関する知識を身につけることができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本語で書かれた文章を的確に理解する能力を集うため、小説、評論などの文章を読解する。また、自分の考えをまとめ表現できる思索力と言語能力を身につける。						
授業の進め方・方法	講義を基本とする。週に一度を目安に漢字テストを実施する。適宜、課題提出も課す						
注意点	授業態度は常に真摯に取り組む姿勢が基本です。積極的に学び、文章を読むことの楽しさ、奥深さに向き合ってください。なお、漢字テストは書き取りテストです。一点一画をおろそかにせず、丁寧に書くこと。評価の対象とならない文字にしないよう普段から気をつけること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	小説「羅生門」（芥川龍之介）		1, 小説「羅生門」を読み、鑑賞する。 作品の主題・構成・表現方法を理解する。 作者や背景に関する知識を身につけ、より作品の理解を深める 原典との対照によって作品の主題を考察する。		
		3週	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
		4週	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
		5週	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
		6週	小説「羅生門」（芥川龍之介）				
		7週	中間試験				
		8週	答案返却・解説				
	2ndQ	9週	評論「歩き続けるための読書」（石川直樹）		2, 評論「歩き続けるための読書」を読解する。 論理の展開を的確に捉える。 筆者の主張をさまざまな角度から批評、考察する。		
		10週	評論「歩き続けるための読書」（石川直樹）				
		11週	評論「歩き続けるための読書」（石川直樹）				
		12週	詩「一つのメルヘン」（中原中也）		3, 詩「一つのメルヘン」「I was born」を読解・鑑賞する。 詩情のありかを的確に捉える。 表現に込められた感性を様々な角度から読みとる。 筆者や背景に対する知識を学び、人生の意味について考える。		
		13週	詩「I was born」（吉野弘）				
		14週	詩「I was born」（吉野弘）				
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解説				
後期	3rdQ	1週	評論「『間』の感覚」（高階秀爾）		1, 評論「『間』の感覚」を読解する。 論理の展開を的確に捉える。 筆者の主張を様々な角度から批評、考察する。		
		2週	評論「『間』の感覚」（高階秀爾）				
		3週	評論「『間』の感覚」（高階秀爾）				
		4週	評論「『間』の感覚」（高階秀爾）				
		5週	評論「科学の限界」（志村史夫）		2, 評論「科学の限界」を読解する。 論理の展開を的確に捉える。 筆者の主張を様々な角度から批評、考察する。		
		6週	評論「科学の限界」（志村史夫）				
		7週	評論「科学の限界」（志村史夫）				

	4thQ	8週	中間試験	
		9週	答案返却・解説	
		10週	短歌「その子二十」（与謝野晶子ほか）	3, 短歌「その子二十」を読解する。 を読解・鑑賞する。 詩情のありかを的確に捉える。 表現に込められた感性を様々な角度から読みとる。 筆者や背景に対する知識を学び、人生の意味について考える。
		11週	短歌「その子二十」（与謝野晶子ほか）	
		12週	小説「夢十夜」（夏目漱石）	4, 小説「夢十夜」を読み、鑑賞する。 作品の主題・構成・表現方法を理解する 作者や背景に関する知識を身につけ、より作品の理解を深める。
		13週	小説「夢十夜」（夏目漱石）	
		14週	小説「夢十夜」（夏目漱石）	
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却・解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。	2	前9,前12
				代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明できる。	2	前2
				文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。	2	後10
				文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べるができる。	2	前2
				鑑賞にもとづく批評的な文章の執筆や文学的な文章（詩歌、小説など）の創作をとおして、感受性を培うことができる。	2	後10,後12
				読書習慣の形成をとおして感受性を培い、新たな言葉やものの見方を習得して自らの表現の向上に生かすことができる。	2	前2
				現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語等の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。	2	前2,後12

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	5	0	5	5	5	100
基礎的能力	80	5	0	5	5	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0